

特集 「島根・新潟 視察旅行」

去る10月25日(木)～26日(金)、某プロジェクトのため、島根県と新潟県に視察旅行に行ってきました。
全行程1泊2日、行き先の割にはとても短い行程でしたが、この時期にしては好天に恵まれ、実りある視察旅行になりました。
この視察研修を活かし、また秋田に気持ちのよい建築を建ち上げたいと思っています。

足立美術館



島根県安来市。庭園と名画の美術館です。実業家・足立全康が昭和45年開館。当然美しいのですが、あまりの完璧さにやや人工的な印象は否めず、京都などの庭園の詫みや寂びとは明らかに異なる雰囲気を感じ出しています。ちなみに米国の日本庭園専門誌によるランキング：1位 足立美術館(島根県)・2位 桂離宮(京都府)・3位 栗林公園(香川県)・4位 養浩館(福井県)・5位 無鄰菴(京都府) だそうです。

出雲大社



平成の大遷宮の真っただ中。何れともあれ我々建築家が目指すのは「出雲大社庁の舎」菊竹請訓建築設計事務所。偉大な菊竹先生のスカイハウスと並ぶ初期の傑作です。1963年ですからもう50年になります。今となっては端っこの方にある薄汚れたプレキャストコンクリートの建物、一般の方は誰も見向きもしません。しかし私にとっては神々しく、内部に差し込む計算し尽くされた光を浴びながら感涙にむせぶのでした。触るの忘れた・・・

カーブドッチ



新潟市郊外のワイナリー。新潟の片田舎にありながら、年間30万人が訪れる人気のワイナリー。カンブリア宮殿でも紹介されたようです。こちらはナチュラルな庭園の中にヨーロッパ風(フランスとかドイツ?)のオシャレなショップやレストランが点在しています。週末はかなり混雑するようですが、平日ですらテラス越しに庭園を眺めながらゆっくり食事をしました。こういうの、秋田にあっても何ら不思議はないですね。

スタッフの日常・非日常 vol.54



田中大臣の発言が美短に混乱を招いています。個人的には大勢の意見に賛成です。そんなちやぶ台返しありですか？大学化も教育の面では良い事じゃないですか。基礎と専門を学ぶには2年じゃやっぱり短すぎますもんね。卒業した後の受皿が県内にあるのかい？っていう問題もマアありますが、主体的に活動すればOK。今回の事象とは全く関係ないですが、でも美術大学のようなものは、伝統工芸を学ぶので無い限りは、展覧会や現代美術作品や文化、街、人など、刺激が豊富な環境下にあるほうが望ましいと思います。要するに都会。そういう意味では「環境側」である我々ががんばらないと。。。奈良義智の展覧会に行きたい。青森は活発だなあ。

今月のマテリアル



カラーガラス
カラーガラスとは、ガラスの裏面に特殊な塗料をコーティングした、壁面材です。オフィスや商業施設など公共の建物の装飾として使用される場合が多いのですが、住宅の家具などにも使えるのではないかと考えました。例えばTVボードの面材として。録画機器を隠しつつ、リモコンが効くように出来ると思います。そうすると、TVの他に余計なものが見えずすっきり出来ます。まだ実例はありませんが、計画中です。

編集後記

みなさん、こんにちは 11月になりました。早いですね。ついこの前まで真夏だったのですが・・・今年もあと2カ月です。

今回のニュースレターは、全面「島根・新潟視察旅行」特集になってしまいました。旅行と言っても1泊2日、その割には移動距離の多い弾丸旅行でした。行程は、秋田→羽田→米子→出雲→羽田で1泊、翌日は新幹線で東京→新潟→秋田の1泊2日でした。しかし、慌ただしいとは言っても、ぼんやり車窓から外を眺めたり、居眠りしたり、お昼に少しはワインを飲んだり。このところ常にお尻に火が付きまくっている状態だったので、普段の仕事の時間からすれば何と贅沢な時間の過ごし方なんだろう、と思わずにいられませんでした。ま「視察の仕事だし」と自分に言い訳しながら(笑)いかがですか？旅心を誘われましたでしょうか？やっぱりこういう時間もないとい建築は設計できませんよね。この視察旅行の目的のプロジェクト、いずれ皆機もどこかでご覧になるかもしれませんが、順調にいけば、どちらかと言うと建築はトッピングのようなものなんですけど。

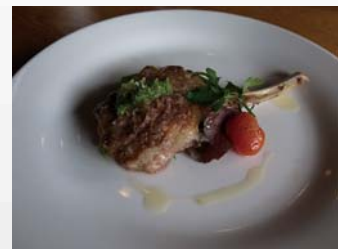
今回は12月の中旬です。12月って・・・それでは次回どうぞお楽しみに。

お知らせ

今月は特にありません。

カーブドッチでのお食事

基本的に食べるモノに対して、特別な拘りとか鑑賞は全くありませんし、その食材が何か？も深く考えることもありません。そこに出されたモノを、何でも美味しくいただくだけです。そして、ここでのお食事大変美味しかったです。



Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315
FAX. 022-739-8932 018-831-4316
HP. <http://www.issei-design.com/>
BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>
MAIL. info@issei-design.com



宿泊は東京でした。改修された東京駅。ほぼ完璧な「お上りさん」状態に見物。他にもたくさんいましたけど。東京はあの日の前々日、3月9日以来でした。